

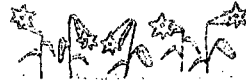
2018年
4月号
NO.0068

カトリック笹丘教会
教会 ニュース

福岡市中央区笹丘1-16-1
☎761-4504 F761-4524
広報委員会

福岡教区今年度の目標・・・「神のいつくしみをさらに生き、広めよう！」

新しい心を頂く為に



主任司祭 遠山満

美しく咲き乱れる花々も、共に主の復活を讃えているかのように感じられます。昨今、皆様、如何お過ごしでしょうか。

私事ですが、私、主任司祭として笹丘教会に赴任して、10回目の復活祭をお祝いしました。2008年に赴任しましたが、この年の復活祭を城山教会で終えた後、笹丘教会に赴任しました。10年の間、笹丘教会で教会建設があり、その後のバザーや様々な返済の為の取り組みがあり、今年度の二月、やっと借入金の返済が完了しました。これも偏に皆様から頂きました物心両面でのご協力の賜物と感謝しております。

ところで、家を建てることを生きる目標としてきた人が、家を建て、ローンを返済すると、一時的に生きる目標を失ってしまうと言われますが、私達の教会も、もしかしたら、今、そのような時期なのだろうかと思うことがあります。このような時、私達にとっての一つの敵は、マンネリズムです。マンネリズムに陥ると、瑞々しい心で人に接することが出来なくなります。そういう意味で、私達信仰者にとっての大敵です。

それでは、信仰生活におけるマンネリズムを乗り越えていくには、どのようにすれば良いのでしょうか。聖アウグスチノは、私達の心の刷新に関して次のようなことを言っています。「人々は愛によって新たにされます。愛は、『新しい掟をあなた方に与える。互いに愛し合いなさい』という主の御言葉からも分かるように、私達の刷新のしるしです」(説教 350A、21)。聖ヨハネは、その第一の手紙の中で、イエス様が私たちに与えられた愛の掟を、古くて新しい掟と言っています (Iヨハネ 2章 7~8節参照)。何故古いかと言えば、教会の中でこの掟は2000年も前から知られてきているからです。と同時に、何故新しいかと言えば、「私が愛したように、互いに愛し合いなさい」と言われた、この掟を、誰もイエス様が愛されたように、実行できないからです。そういう意味で、愛の掟は、毎日私達に新しい課題を与えてくれます。

愛の掟を生きようとする私達は、高い山々に登ることをライフワークとする登山家や冒険家のようです。登山家として、また冒険家としても有名であった植村直己さんは、一つの山の頂上に立った時、次の山を目指したと言われます。私達の人生も、愛において一つの課題を済ませると、次の課題がまた視野に入ってくる、そのような人生ではないかと思えます。共同体として共に手を取り合いながら、人生の山々を目指して参りましょう。

信仰のルーツコーナー

〜〜 主が呼ばれたから 第一話〜〜

「確かにそこに・・・」



ルカ後藤勝彌

これは太平洋戦争の始まった年に長崎に生を受け、幼小児期を瀕死の重傷を負った家族の悲しい話の語り継がれていた環境で過ごし、科学万能の時代に高等教育を受け、職業人としてのピークにあった時に信仰に導かれた私の体験記です。

90年代の初め、九大脳神経外科の福井教授の後押しで我が国初の脳血管内外科を麻生さんに作って頂いて飯塚病院に赴任した頃の話です。その頃は毎朝、病院の前にある飯塚教会に行ってノリス神父と二人きりのミサに与ってから出勤していました。侍者を務めていた私がベルを振るタイミングを間違えて、ノリス神父に叱られていたのも懐かしい思い出となりました。手術室には、イギリスから買って帰り司祭に聖別して頂いた2枚の聖画を掲げて仕事に励みました。その頃は脳血管内治療の黎明期で、将来性を高く買ってくれる少数の脳外科医がいる一方、大多数の脳外科医は私達が開拓に努めている治療法を危険なもので、開花せずに消え去る運命にあると見なしており、「脳外科医でもない者が自分たちの神聖な領域に土足で踏み込んでくる」と敵意を露わにしていました。手術室に入ると、自分だけが頼りです。とりわけ難しい患者さんの手術に難渋していたある日のこと、ふと気が付くと私の腰のあたりを巨大でゆるぎないものが後ろから支えてくれているのを感じました。「何だろう？」と思って横目で見ても何も見えません。手術が順調に進み始めるとそれは部屋の隅に退いていきます。そこにはブンブン音を立てる冷却装置をしたがえた2台の大型コンピューターが鎮座しているだけ・・・。再び行き詰って不安感に胸塞がりそうな気分になると、それは部屋一杯に広がって私を静かに支えてくれるのです。滑らかに手が動き始めると、それはまた部屋の隅に退いていく。そういったことを繰り返しているうちに、ようやく手術を無事に終わることが出来ました。あれは一体何だったのだろう・・・考えるまでもなく私には分かっていました。その直後に読んだ「宇宙からの帰還」という宇宙飛行士の神秘体験を書いた立花隆の本を読んだ時に「やっぱり・・・」と思ったのです。絵に描いたような科学の人と言っても過言ではない宇宙飛行士でも、単に広大無辺な宇宙の中に一人で浮かんでいるだけで、似たような体験を知りました。ことに、重大なトラブルに次々に見舞われ、漆黒の宇宙にぽっかり浮かぶ水色の地球を見ながら“あそこにはもう戻れないだろう”という思いに駆られてリカバリー作業に従事しているときに、“すぐ近くに神の存在を感じて平常心を取り戻した”と報告しているひとが多いのに驚きました。さらに地球に生還してから伝道師になった者が少なくないという事実も興味深いことです。【次月につづく】

注 脳血管内手術または脳血管内治療 直径1mm以下の細いカテーテルを使って血管の中から脳動脈瘤などの脳の血管病変の治療を行う高度先進医療の一つ。メスを使わない脳外科手術とも呼ばれている。最近では脳卒中治療の切り札にもなっている。

カトリック笹丘教会 信者会総会議事録

開催日時：2018年4月15日（日）11：25～12：45

開催場所：カトリック笹丘教会聖堂

進行：川原義広

議長：辻部大介

書記：牧山幸二



1. 始めの祈り

2. 主任司祭挨拶（遠山神父様）

昨年度の総会の時に、維持費会計に関する資料を皆さんにお見せできなかったことをお詫びします。建設借入金の返済が終了しましたことを感謝いたします。色々ありますが、これからもイエス様を中心にして歩いていくことができればと思います。

3. 会長挨拶（川原義広）

この1年間のご協力に感謝いたします。何よりも松尾神父様の司祭叙階と、建設借入金の返済が終わったことが大きな喜びでした。返済が終了したことで、5月のバザーは行わないことに決めましたが、バザーが小教区共同体作りに寄与していたことを思うと、バザーを行わないことの影響を少し懸念しています。新しくお見えになった方に、積極的にお声掛けしていきましょう。今回は維持費会計決算書を資料としてお渡ししています。持ち帰っていただいて構いませんが、取り扱いは慎重にお願いします。

4. 議長選出

立候補なし。推薦により辻部大介さんが選出され、議事を進行した。

5. 平成29年度活動報告

川原会長より、資料に基づき報告された。

6. 平成29年度会計報告及び監査報告

信者会会計担当前田史美さんより、資料に基づき報告された。

会計監査人佐藤あやみさんより、適正に処理されていると報告された。

7. 平成29年度福岡地区信徒協、教区納骨堂管理委員会報告

信徒協担当及び教区納骨堂管理委員の畠山真理男さんより、資料に基づき報告された。

8. 平成 29 年度福岡地区カトリック女性の会活動報告

福岡地区カトリック女性の会担当川原圭子さんより、資料に基づき報告された。

9. 質疑応答

なし。

(議決)

議長が平成 29 年度活動報告と平成 29 年度会計報告について総会出席者に賛否を求めた結果、挙手により賛成多数で承認された。

10. 平成 30 年度活動行事 (案)

川原義広会長より、資料に基づき主な予定が報告された。

- ・ 5/13 (日) に福祉バザーを予定。例年春のバザーに出店いただいている福祉関係事業所に声をかけて物品の販売を呼びかける。
- ・ ペトロ岐部と 187 殉教者の列福から 10 年が経過したのを機に、7/1 (日) に「捨てがたき宗旨故」上映会を予定。
- ・ 10/13 (土) 巡礼 (平戸方面) を予定。
- ・ 福岡教区の今年度目標で、葬儀の在り方について取り上げられている。11/11 (日) にドキュメンタリー映画「エンディングノート」上映会、11/18 (日) は終活勉強会を予定。

11. 平成 30 年度予算 (案)

信者会会計担当前田史美さんより、資料に基づき報告された。今年度は秋に巡礼が計画されており、行事費予算が増えていること、役員活動費を新たな科目として追加していることなどが説明された。

12. 質疑応答

- ・ 行事予定で、クリスマスバザーが 12/9 (日) となっているのは何か理由があるのか。例年通りであれば 12/2 バザー、12/1 クリスマス飾り付けになると思うが。(谷口さん)

→日付の間違いであるため、ご指摘の通りに訂正する。

- ・ 11/18 (日) 午後 2 時に、納骨者のための追悼ミサを予定しています。(遠山神父)

(議決)

議長が平成 30 年度活動行事 (案) と予算 (案) について総会出席者に賛否求めた結果、挙手により賛成多数で承認された。

議長はここで役目を終わり、ここからの進行は川原会長が行った。

13. 役員改選について

川原会長が立候補を募るも候補者なし。現役員の継続が承認された。

会長：川原義広

副会長：辻部大介・前田美由紀

会計：前田史美・菅美樹

書記：牧山幸二・松尾充子

信徒使徒職協議会担当：畠山真理男

福岡地区女性の会担当：川原圭子

以上9名が今年度も役員を継続する。役員就任が長くなっている方もあり、後1年という条件で了承を得ている。川原会長も3期目であり4期目はあり得ない。役員の決め方について今後拡大信者会等を通じて話し合っていきたいと語った。

14. 小教区維持費会計について（報告）

小教区会計担当藤村肇さんより、資料に基づき報告された。建設費の返済が前年度で終わり、建設費会計を閉じるために、残金を施設費会計に移したことが説明された。

会計監査人細川裕司さんより、適正に処理されていると報告された。

施設費会計今年度予算として、修繕費に60万円計上しているのは、桜の木の剪定を想定しているとの説明あり。

遠山神父：剪定作業は一つの業者に依頼しており、当初3年掛けて行う考えであったが、早めに行った方が良いとの意見があり、100万円程度掛かる予想。

川原会長：桜の木は全部で9本ある。

山口さん：相見積もりは取っているのか。

遠山神父：取っていないので、取るようにする。

15. その他

伊藤さん：活動報告に、「アンナ・ヨアキム」と記載されているが、「アンナ・ヨアキム会」にした方が良い。

古川さん：成人のためのミサは年の初めに1回だけ行われているが、成人の日に合わせてもう1回行ってもいいのではないかと。また、洗礼式を復活徹夜祭ではなく、復活の主日に行う小教区もあるが、その方が参加が多くて良いのではないかと。

遠山神父様：成人のためのミサが1回になったのは、話し合いの結果そのようになった経緯がある。洗礼式について、復活の主日に行く小教区もあるようだが、私としては復活徹夜祭が洗礼式に相応しいと考えている。

谷口さん：成人のためのミサは、福岡市の式典に合わせて、成人の日の前日が参加しやすいのではないかと。

川原会長：成人のためのミサの日程については、今後検討して決めたい。

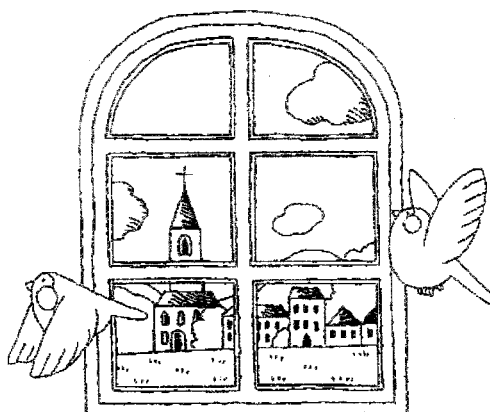
伊藤さん：七五三のミサが予定にないが。

遠山神父様：11/11（日）に予定する。

16. 終わりの祈り

以上

—メモ—



復活祭

2018年

3月31日(土) 復活徹夜祭

受洗式

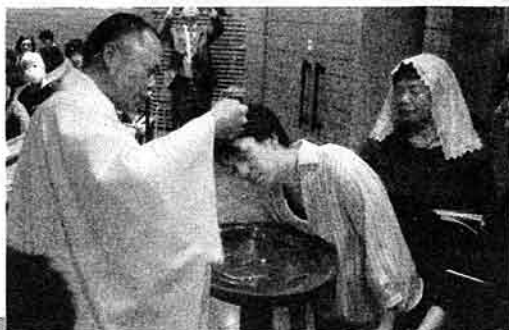
受洗おめでとうございます！！

2018年の桜の開花は、一気に満開
となりました。きれいでした！！

復活祭を迎える私たちを華やかに迎えてくれま
した。



笹丘教会敷地内東側の満開の桜



3月28日に3名の受洗



4月8日に1名の幼児洗礼



4月8日受洗

マリー・セシリア

松尾衣珠(えま)ちゃん



前列

マリア / マリア・ローザ・アグネス / マリア・ヴェロニカ
島田貞子さん 松橋玲奈さん 松橋美央さん

復活祭パーティー 2018. 4. 1



復活おめでとうございます！受洗受堅おめでとうございます！



司会を務めた新高校1年生
古川舞乃さん、森拓夢さん



勝頼まりなさん
中学生

小林倫香さん
高校生



会話がはずんで、皆ニコニコでした



古曳正哉君 高校生

中高生の自己紹介



笹丘ファミリー合唱団のコーラスで会場が一体となりました



編集後記

今年の桜の開花は一気に満開になり、満開なった後も風雨にさらされることなく、その美しさを保ちました。ずいぶんと癒やされましたね。本年度も広報委員をがんばります。全てのことに感謝しつつ・・・ご復活おめでとうございます。(J.N)

※信仰のルーツの原稿、引き続き募集中です。広報委員も募集中です。活動は自分のペースを乱さないのが長く続くコツです。少し頑張らないといけない時もありますが、楽しく活動できますよ。